

2020.10月

# 銀の汗 Again

A面

## 学生たちの未来に栄光あれ



江戸川大学N棟施工



静音の7号機



施工後産廃Dが空ドラムすばやく回収



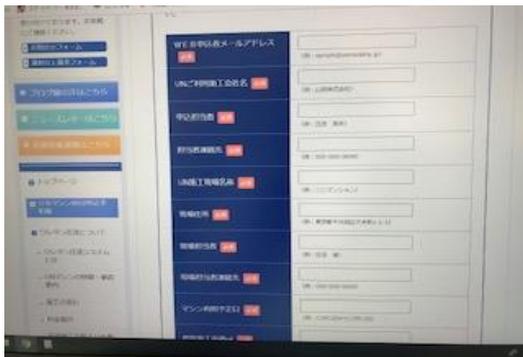
学食の100円モーニング

年間数現場大学の施工があります。大学は敷地が広く、緑も多く若くてエネルギー溢れる学生達が生き生き活動している様子が好きで現場によく伺います。そしてもう一つの楽しみが学食メニューを見る事です。9月千葉県流山市での大学施工はコロナ禍の影響でキャンパスには活気がありません。

でも100円のモーニングはパンチ力のある看板メニューでした。学生達も数名でしたが、早くコロナ終焉し通常の活気あふれるキャンパスに戻ることを祈っています。

少し雲行きの怪しい日でしたが、そこはUNマシンの短時間施工の出番静音の次世代7号機で1,000㎡を3時間と少しで施工を終えました。「学生達の未来に栄光あれ！」

## WEB申込率70%超え



トップ画面の申込画面

2020年5月より、UNマシン専用サイト  
UNマシン.com [www.un-machine.com](http://www.un-machine.com)  
トップ画面にWEB申込書サイトを作成  
簡単な10項目入力で、仮予約が可能  
5月～9月の5ヶ月間で  
20件を超える申込を受け付けしました。  
期間中の従来方式の申込書のFAXも合わせて頂いています。  
結果、WEB申込率は**70%超え**  
24時間365日PC・スマホで申込OK  
改めて、時代に即したアイデアが大切と感じ入りました。



スマホOK

## 担当OPが最後まで対応させていただきます



東急建設技術研究所現場



(有)カンヴァス様

初めてのUN施工  
8/31日 1層目を無事終え  
翌日2層目で終了予定が  
9/1.2.3日と3連続雨が続き  
やっと晴れた9/4日に2層目を  
終えました。  
3日間現場調整連絡をした  
オペレーターも、お客様共々  
無事施工を終えて一安心です。  
8月から天候がやや不安定ですが  
スマホで見るウェザーニュースの  
予報精度が年々向上し助かります。

2020.10月

# 銀の汗 Again

B面

## 全社で5S活動開始し始めました！



### 5Sを言ってみろ！

「ハイ！ 寿司・ステーキ・すき焼き・酢豚・締めはスイーツでお願いします」

「馬鹿野郎、締めはスイカだろ」

と、真剣な語り合いを始めた環境チームの面々

現在全社で「5S活動」の取り組みがスタートしました。

各部署での改善を進め、全社的に風通しの良い組織にする為の取り組みです。

産廃ゴミの収集運搬はまさに、現場をキレイにする、不要なものを捨てる整理のスタートとなります。

それを推進する環境チーム産廃ドライバーはまさに現場5Sの担い手

ただゴミを収集するだけでなく積込み後のあと片付け時に、お掃除も各人が工夫して行っています。



時にゴミ置場水を借りて素早くお掃除

0.1トンの体で2トンを運転



締めはパフェで  
産廃：豊田ドライバー

## 2020年秋冬物作業服チラシ



2020年 秋冬物作業服チラシが完成し、お客様の元、納品書・請求書に封入しています。裏面はサイズ分けした発注書となっています。人気のバートルシリーズ(チラシ真ん中上)は、お早めにお求めください。

担当：佐久間特販チーム

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました

[www.un-machine.com](http://www.un-machine.com)

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省カ化など)

ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシンにて検索

### 【sweat of silver】

ニュースレター関連を作成し10年を超えます。今まで文章の書き方等習ったこと無く、テキストに書いていたのが実態です。そこで一度正式に習いたいと思っていたところ、近所の市民センターで「文章教室」を見つけ早速伺いました。

講師は出版社の編集長を務めた、お酒が好きそうな60才を超えたオモシロイ先生です。生徒は比較的高齢で女性が多く私の存在は少し違和感がありました。まず最初に毎月生徒が思い思いに短歌・俳句・随筆・小説等々を講師に送り、講師が取り纏め、生徒に事前に配布して当日全員がその作品を批評します。

生徒の中には本格的にキャリア30年以上の短歌創りの方、千葉日報新聞で小説の優秀賞をとられた方など立派な方々がいらっしゃいます。私の初批評は「とにかく、この短歌は好きです、情景が浮かびます、心に沁みました」と大きな声で言いますと、オバサマ達がウンウンとうなずいて頂けます。最後にはお菓子をくれたりもします。

とにかく褒める事、わからないけどスバラシイと強く言う事が、お菓子の量が増えるコツだと言うのを幼少の頃から学んでいたのでパーフェクトなデビューを果しました。

問題は今後です、皆様の批評を受けながら、切磋琢磨し更なる芸を磨き技術を得、自分の感性がはたして世代を超えて通用するのか、破門にならない様、そして必ず、おせんべいお腹一杯です！にして次のステージへと...

今新たな、挑戦を開始しました。